

価値観の違い

Profile 1940年静岡県生まれ。さまざまな職業を経て76年に小説家デビュー。'80年に直木賞受賞。執筆の傍ら、テレビでも活躍。不登校児の支援など、社会的活動にも携わっている。

悩めるあなた、丸ごと受け止めます！

志茂田景樹の 連載第18回 あたためるコトバ

Twitterでの人生相談が大反響の志茂田景樹先生が、読者のお悩みに答えます！

旧友との会話が最近物足りなくて……

M・Tさん (52歳)

中学時代の友人と話が合わなくなってきました。子供の高校のママ友は皆、向学心が強くて刺激的。対して旧友の話は昔と同レベルで、学ぼうとも変わろうともしません。今後も友達でいたいけど、この物足りなさをどうしていいのかわからない……。

先生 & 生徒のつもりでこっそり彼女を育成して物足りない一方で、「情」もあるのが難しいところですね。ならば退屈な会話を、彼女の向学心を刺激する練習だととらえてみましょう。あなたはさしずめ楽しい先生役、彼女は生徒役。知的な話を簡単に噛み砕いたり、他愛ないゴシップを社会問題と絡めて楽しく表現したり、どうすれば

相手に興味を持つかを探ってみて。もちろん、彼女を生徒役に行っていることは内緒。プライドを傷つけてしまいますからね。これ、めつぼう高度な技ですよ。でもあなたならきっと、この「育成ゲーム」を楽しめるはず。それでも変化がなければ、会話の頻度を下げてOK。無理して不満を募らせるより、「年賀状オンリー」の関係を保てば、また自然に話したくなる時が来ます。

性格が正反対の夫が苦痛。老後を思うと恐怖です！

K・Hさん (42歳)

外向的な私と内向的な夫。結婚して十数年、性格の不一致は年々深刻化、今はほぼ会話ナシです。ちなみに長女は夫似、次女は私似。長女が私に批判的なのも辛いけど、娘たちが巣立った後の二人きりの老後を思うと、もっと恐ろしいです。

未来を恐れるより、今こそ軌道修正を。その入口は娘さんたちの協力を得ることです。例えば休日の遊びの企画を立ててもらっては？ その二人なら良い中立案を考えてくれそうですし、ご主人も子供の企画に冷淡な反応は示さないと。両親の関係を何とかしたいと思っているだろう二人の「やりがい」にもつながります。ただし子供に依存するのは厳

禁！ あなたがまず率先して、ご主人と折り合える点を探ること。成果は、すぐには出ないでしょう。でも、それでいいんです。投げやりにならずに向き合い続ける姿勢を示すことが、家族関係を回復させる秘訣なのですから。

家族再生を本気で考えて「子はかすがい」作戦を

未来を恐れるより、今こそ軌道修正を。その入口は娘さんたちの協力を得ることです。例えば休日の遊びの企画を立ててもらっては？ その二人なら良い中立案を考えてくれそうですし、ご主人も子供の企画に冷淡な反応は示さないと。両親の関係を何とかしたいと思っているだろう二人の「やりがい」にもつながります。ただし子供に依存するのは厳

グチだらけの妹に心底うんざり

R・Yさん (47歳)

2つ下の妹はワガママで、ものの見方も一面的。始終電話やメールで、パート先の不満や人の悪口を並べます。優しく聞けば調子に乗り、突き放せば暴言の嵐。親は「支えてやって」と言うけれど、私は縁を切りたいです！

「どうでもいい用事」は幼い人への特効薬！

辛いかれど、血のつながりを切るのにはやはり難しいでしょうね。ここは、2つのコツで切り抜けて。まず、真面目に取り合わないこと。考えてあげたり意見を言ったりせず、メールの返信は数行、電話も適当に聞き流して。もうひとつは、用事を頼むこと。「○○の最新情報を教えて」など、どうでもいいことでOK。大人なのに幼い人って、内心は無力感でいっぱいなの。だから、人の役に立てば心が安定するんです。グチを減らす効果も大ですよ。

今月の

KAGEKI FASHION



流行のスポーツミックスコーデをカゲキ流に。髪色との絶妙マッチ、ソックスのラインボーカラーもビビッド！

カゲキ先生に相談したいお悩みはこちらへ！

【①氏名②掲載希望名③年齢④住所⑤電話番号⑥メールアドレス⑦お悩みの内容】を記載のうえ、下記の宛先までメールまたは郵便でお寄せください（電話またはメールで、お悩みに関する質問をさせていただくことがあります）。掲載された方には図書カード¥2,000分をプレゼントします。

【宛先】●メール kageki@karakoto.com ●郵便 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44-2 神田TNKビル5F からだにいいこと編集部「あたためるコトバ」係